

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
人権・労働	□	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	雇用関係におけるすべてを男女・年齢問わず平等とし、それを経営者自らが実行している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7		
	□	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	ハラスメントの研修実施 「職場いきいきアドバンスカンパニー」認証を取得した					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1		
	□	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	労働時間の管理を徹底し、長時間労働の場合の原則振替休日の取得を促す 多様な勤務体制の整備対応を行っている								8.5 8.8									
	□	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	毎朝朝礼時 全員でのコミュニケーションを通し、外国人労働者との親睦を深める				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
	□	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	労働安全衛生講習会等の実施 KY活動に基づき日誌を作成			3					8									
	□	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	年に数回の面談を通しメンタル面のケア実施 36協定の厳守を指導			3														
	□	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	定年延長や女性の現場監督等率先して行う 「社員の子育て応援宣言」に登録し、就業規則を整備					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	□	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	職務に応じた資格取得・研修を随時実施				4	5.5			8		9							
	□	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	パートタイム労働法に法に沿った体制の整備・対応を行う 「職場いきいきアドバンスカンパニー」認証の取得した					5.5			8.5		10.2 10.3							
	□	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	協会けんぽの「健康づくり企業宣言」に登録し、従業員の健診受診率向上に取り組む。従業員の受診率：毎年100%			3					8									
環境	□	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	マニフェスト台帳を作成し管理 電子マニフェストの移行手続きに取り組んでいる											11.6	12		14.1			
	□	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	エコアクション21に取り組み、使用料を記録している							7.3						13				
	□	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	エコアクション21に取り組み、削減に努めている							7.2 7.3					12.4	13.3				
	□	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	法令等の理解を深め、各作業ごと確認を徹底している			3.9			6.3						11.6	12.4				
	□	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境に配慮した材料の使用や、作業地での活動に配慮する						6.6									15		
	□	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	長野県の「産業廃棄物減量化3R」に取り組んでいる 廃棄物の分別を行い、資源の再利用を実施している														13	14.1		
	□	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	エコアクション21に取り組み、削減に取り組んでいる						6.4 6.6											

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
18	□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	エコアクション21を取得している			3.9		6	7			12	13.3	14	15						
19	□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	HP等で公開していく									12.6									
20	□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	現場から出た廃材・伐採木等を利用し薪材を作っている						7.2					13							
21	□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	自社で作成した薪材を使い暖房で利用している									12.2	13	14	15						
22	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	就業規則に規定し、社内に周知をし、社員教育を行っている																16	16.5	
23	□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	就業規則に規定し、社内に周知をし、社員教育を行っている																	16	
24	□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	製品開発等を行っていないため								8.2	9									
25	□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	「個人情報に対する基本方針」に法り指導																	16	
26	□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	製品・商品購入時に必ずメーカーを確認し、紛争鉱物等を含んでいないものを購入している																	16	
27	□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ					5			8			10	12	13	14	15	16	17		
28	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	製品・サービス使用時に予想されるリスクを想定し対策を実施			3.9							12.4								
29	□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	クレーム対応時のノウハウ等社内で話し合っている										9								
30	□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ						6						12	13	14	15				
31	□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																					
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
32	地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	見学会等を実施し地域に対し適切に対応している					4					9		11	12		14	15		17				
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	現場等で発生した間伐材などを薪に加工し必要な方たちに支給 緑の基金への募金を行っている					4								11				14	15		17		
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	極力地元優先で下請け企業・資材を探している 人材についても地元から雇用している										8	9			11	12	13						
35	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念を社内に掲示し、朝礼等で社員に発信している										8	9									17		
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	朝礼にて法令順守の重要性を説き、安全週間時はポスターを掲示し社員教育を行っている																					16	
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	各責任者を任命している																					16	
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	ステークホルダーと定期的に対話し影響を把握し対応している																					16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	リスクの洗い出しや回避方法の検討をする																						16
40		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	地域の指定店なり、除雪・水道修繕など対応をしている																						16
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	保険等を利用し長期的に対応していく											9			11			13	13.1			16	
42	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ												8	9										17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）